

我が校の強み弱み分析・評価シート

《全国学力学習状況調査（2024/4/22 6年生対象）による本校の強みと弱み》

【学習にかかわること 国語】

【強みと弱み】

「話すこと・聞くこと」の領域は、滋賀県の平均よりも3.7ポイント上回りました。メールやオンラインでの伝え方に関する思考・判断・表現に強みが見られました。

「知識・技能」の領域では、滋賀県の平均よりも5.5ポイント下回りました。その中でも言葉の特徴や使い方に関する事項に弱さが見られ、漢字の習得に課題があることがわかりました。

また、選択式の問題では滋賀県の平均より2.0ポイント上回っているものの、記述式では6.1ポイント下回り書くことに課題があることもわかりました。

【学習にかかわること 算数】

【強みと弱み】

「図形」の領域では、滋賀県の平均よりも1.3ポイント下回りました。しかし、図形の展開図や見取図は滋賀県の平均よりも2.4ポイント上回り、強みが見られました。

「数と計算」の領域では、滋賀県の平均よりも9.6ポイント下回りました。問題場面から式を選ぶことは比較的でしたが、計算の意味を問われる問題や、実際に四則計算を行うことに課題があることがわかりました。

また、選択式の問題では滋賀県の平均より2.4ポイント下回る結果ですが、記述式では8.8ポイント下回り、書くことや説明することに課題があることがわかりました。

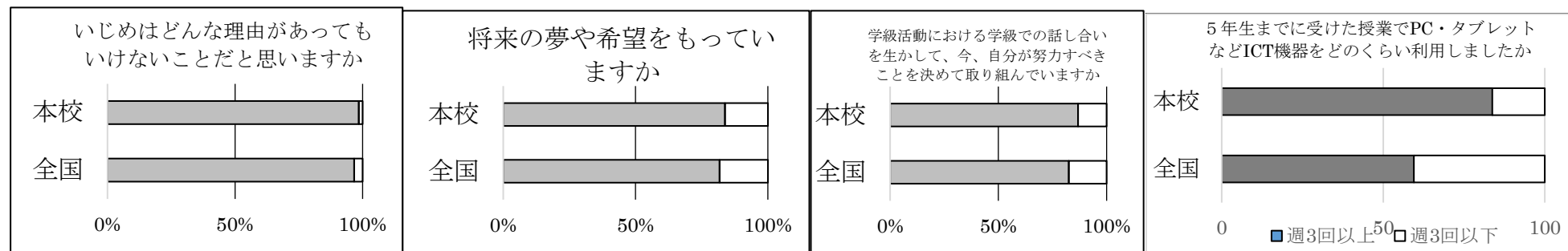
【全国学力・学習状況調査をもとにした重点取り組み事項】

○学校での授業改善

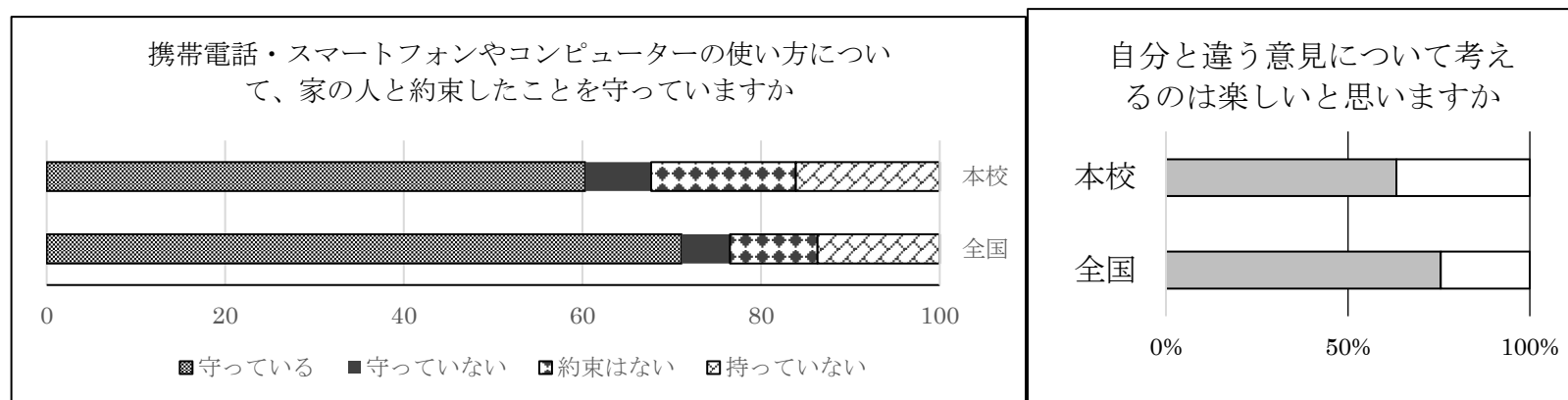
- ・校内研究で「書くこと」にスポットライトを当て、あらゆる教科の授業において書くことに抵抗をなくすと共に、魅力ある教材作りや発問の工夫などで、主体的に学べる授業作りや思考力の向上に力を入れます。
- ・ぐんぐんタイムでは、毎週火曜日は計算、木曜日には素読と視写を行い、基礎学力の定着を図ります。
- ・3年生については、算数の少人数指導を取り入れます。4年生は、計算分野で少人数の授業を取り入れます。
- ・学校で学習したことが生活の中で活かされるよう、宿題の出し方を工夫します。2学期3学期と「エジソンタイム」を始め、家庭学習を主体的な取り組みへと変換を始めます。
- ・HPに家庭学習の手引きを動画で上げ、家庭学習の意義について理解を広めます。

強み

【生活に関わること】



弱み



【強み】

本校は、若手教員を中心に ICT に力を入れ様々な教科でタブレットを有効活用した共同的な学びを模索しています。また、特活を中心に、委員会等で自分たちのアイデアを形にし実行する取り組みを繰り返しています。また、途方もない夢を実現した方の話を全校が直接聞く中で、自身を振り返り、努力すべき事をみつけたり自分の夢を大事に育てたりしていると考えられます。

【弱み】

ICT 機器を使用する時の約束がない家庭が多いです。また、約束を守っている児童も全国より少ない傾向です。毎年行っている児童への専門家の授業を保護者にも見ていただくことで、親子で話し合える機会を設けていきます。また、自分と違う意見を楽しんでいる児童が少ないことから、学校の中で違いを大切にしながら授業を進めていきます。